

国交省航空局の保安強化に即応 X線爆発物検査装置を2拠点同時導入のお知らせ

MDロジス株式会社(本社:東京都中野区、代表取締役社長 小西雅彦)は、国際航空貨物における保安体制強化に対応するため、最新のX線爆発物検査装置を導入し、2026年1月より運用を開始いたしました。

本導入は、2026年1月適用の国土交通省航空局による保安強化方針に準拠するものです。

当社はこれまで ETD(爆発物探知装置)による検査を中心に対応してまいりましたが、同方針に基づき、X線検査装置を用いた爆発物検査へ移行いたしました。

■導入拠点

- ・りんくう航空貨物センター(大阪府泉佐野市)
- ・広畑グローバルロジスティクスセンター(兵庫県姫路市)

■導入装置及び特長

導入装置: Rapiscan Systems 社製

- ・開梱・開披作業を回避できる非破壊検査方式
- ・2方向照射による高精度デュアルビュー検査
- ・パレット貨物・混載貨物をそのまま検査可能
- ・最大3トンまでの大型貨物に対応

より厳格な保安基準への対応と作業効率の維持を両立させる体制を構築いたしました。



(写真) りんくう航空貨物センターに導入のX線検査装置

■導入効果

- ・現行リードタイムの維持
- ・検査対応件数の安定確保
- ・開梱作業削減による貨物ダメージリスクの低減

保安レベルを引き上げながらもサービス品質を維持し、安定的かつ継続的な物流サービスを提供してまいります。

■MDロジスの輸出入業務の強み

- ・保税倉庫を自社保有
- ・AEO 認定取得(認定通関業者・特定保税承認者)
- ・24 時間常時監視体制
- ・当社及びグループ会社の通関士を中心としたプロフェッショナルによる、迅速・適正申告
検査・保管・通関をワンストップで提供することで、国際物流における安全性とスピードを両立しています。

MDロジス株式会社は、社会的要請に即応し国際物流における保安水準の高度化に対応しながら、信頼される国際物流パートナーとして、安定的かつ高品質な物流サービスの提供を継続してまいります。

お問合せ先

MDロジス株式会社 総務部 総務グループ
TEL:03-6777-9900